

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立北本高等学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が簡潔に示されている学校像である。学校の置かれた状況や課題を的確に把握した上で、「地域からの期待に応え」という部分に反映させるなど、学校の方針を踏まえた適切かつ明瞭な学校像が設定されている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、重点目標が設定されている。学校の置かれた状況などを把握した上で学校内外の環境分析などを行い、中期的な視点から課題の解決に向けて、更に検討・整理して目標の重点化を進めることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校評議員・学校評価懇話会の意見をまとめて、教職員に伝え、共通理解が図られている。評価項目や方策が重点目標を実現するものとなるようより重点化して具体性のあるものにし、組織的な体制を整備していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	北高運営委員会（評価運営委員会）で方策を策定し、課題の解決のために取り組んでいる。評価指標については、具体的なものとなっているが、取組指標と成果指標をうまく組み合わせることで取組の達成状況が測れるものを設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は学校の課題を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長が的確にリーダーシップを発揮し、分掌・学年・教科などが学校全体の目標を理解した上で、K I S E P（北本市小中高相互交流事業）等の推進に、適切に連携して全校を挙げての優れた取組を行っている。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートや学校関係者評価などを基に、取組を検証するための情報収集に努めている。学校関係者の意見やアンケート結果等を詳細に分析して新たな課題の析出や方策の見直しを検討するなど、CAからPDのつながりを意識して次年度のより具体的な取組につなげ、スパイラルアップを図るようにしていただきたい。	
特記事項			